

## 令和3年度 学校経営報告書（自己評価）

学校名	富士市立高等学校	校長名	岩田 享
-----	----------	-----	------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 生活及び 学習習慣 の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の遅刻者延べ数各学年 120 人以内</li> </ul>	12月21日現在現在 遅刻延べ人数 1年：121人 2年：83人 3年：325人	生徒教務 保健環境 学年 C	朝のSHRの遅刻については長欠傾向の生徒を除けばほとんどのクラスで延べ5人以下であり、学年で50人を下回る。朝読書も大切な学習のひとつであることを粘り強く指導する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に5日以上、家で勉強している生徒 60%</li> <li>・平均90分以上家庭学習を行う生徒、各学年 50%以上</li> </ul>	生徒アンケート ・1年 53%、2年 42% 3年 50%、全体 48% ・1年：60% (55%) 2年：32% (27%) 3年：63% (59%) ( )は長期休暇期間含む	生徒教務 保健環境 学年 B	学年や学科により家庭学習習慣にかなり差があるのは昨年度と変わらない傾向である。継続して声かけを行い、各教科でも家庭学習につながるような課題等をさらに工夫する
ア 魅力ある 授業実践 と授業力 向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の内容がよくわかる」生徒 70%</li> </ul>	生徒アンケート 1年：68.6% 2年：67.7% 3年：72.4% 全体：69.6%	教務 企画研究 教科 B	学年で多少差があるが、おおむね目標に達している。引き続き授業改善して行く必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・70%以上の生徒が「授業に満足している」と答えた授業（教員）80%以上</li> <li>・授業共有フォルダの活用</li> <li>・授業づくり評価シートの完成</li> <li>・新教育課程の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート結果…97%</li> <li>・授業共有フォルダは昨年度オンライン上に作り、各教科の昨年度の教材等を保存した</li> <li>・令和4年度からの新教育課程に向け、新観点別の評価の方法を確立するために各教科の試行を行った。</li> </ul>	企画研究 キャリア 支援 学年 ICT推進 指導主事 教務 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは教員の熱意、板書・プリント作成の工夫などの質問項目で高い評価が見られた。</li> <li>・授業共有フォルダは今年度それ以上の活用はできなかった。</li> <li>・試行を継続し、来年度スムーズに新教育課程に基づいた授業が行えるようにする。シラバスを授業に更に反映するように改善する。</li> </ul>

イ	学校の安心安全と生徒・職員の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車安全指導カード(年間50件以内)、自転車事故件数(昨年度より減)</li> </ul>	自転車指導カード 196件(1/21 現在) 自転車事故 12件(1/21 現在)	生徒 C	昨年度は、自転車指導カード64件、自転車事故11件であった。全校に注意する機会を増やすだけでなく、プリント作成や街頭指導の実施など継続的な指導により、マナーの徹底を図る必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒85%</li> </ul>	1年 80.2% 2年 78.2% 3年 83.6% 全体 80.7%	教育相談 C	本校での友人関係に満足している生徒が87.7%ほどなのに加え、信頼できる先生がいる生徒が73.8%と、学校内に気を許せる人がいない生徒が増えている。人間関係作りトレーニングのような対策が本格的に必要なのかもしれない。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学年別実施する保健講座後の意識向上率20%</li> </ul>	未実施	保健環境 D	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめを理由とする不登校転退学者ゼロ</li> <li>体罰の撲滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめを理由とする不登校転退学者はいなかった。体罰についても問題になるような案件はなかった。</li> </ul>	教頭 B	今後も生徒からの相談に対して迅速丁寧に対応したい。いじめ・体罰撲滅に向けて絶えず呼びかけを行う必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>週3日以上午後8時以降に残留する職員の減少</li> </ul>	1学期は十数人が残留したが、2学期には減少し12月は数人であった	管理補佐 B	ワークライフバランスを意識して仕事に取り組む職員は増加しているが、学校の魅力化を図りながらも業務を削減することの難しさもある。
ウ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」3年生徒80%</li> </ul>	生徒アンケート H31 75.7% R2 78.6% R3 78.0% (1年次53.6%) (2年次59.6%)	キャリア 学科 学年 B	コロナ禍で進路行事が思うように実施できていないが、学校生活を通して明確な進路目標を持たせたい。低学年時の段階から、学習や行事に前向きに取り組む雰囲気を作る必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒60%</li> </ul>	生徒アンケートの結果 H30 51.6% R1 48.4% R2 49.1% R3 58.9%	企画研究 学科 学年 B	毎年50%前後の生徒にとどまっている。生徒が授業で培った知識を繋げて自分自身で問いをたて、探究していきたいという気持ちを持てるような授業を構築することが必要である。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>校外模試の全国偏差値50以上の人数及び平均点偏差値の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進研模試7月から11月の変化人数                              1年:10人→8人                              2年:8人→10人                              平均偏差値                              1年:40.3→39.5                              2年:40.3→40.2</li> </ul>	学力向上・進路実現プロジェクト 学年 教科 B	人数、偏差値平均共に横ばいの傾向にある。各学年で結果を共有する機会を設け、生徒の学力が向上するにはどのような対策が必要かを検討した。これに基づいて教科での授業や補講等に生かし、継続していくことが必要である。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>進学(四大100名以上及び就職内定率(100%))</li> </ul>	四大合格延べ人数95 (12月15日現在) 就職希望者内定率 100%	キャリア 学年 B	総合型選抜や学校推薦型選抜における国公立大学の合格者が10名となった。 就職希望者は全員内定をいただいた。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記検定1級合格率80%及び全商検定1級3種目以上合格者15名以上</li> </ul>	簿記検定合格率 1級会計37.8% 1級原価計算56.1% 全商検定1級3種目以上合格:11名	ビジネス 探究 B	1月～2月に実施された検定試験では、直前の休校や補講中止という状況であったが、取得に向けて努力する生徒の姿が見られた。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語資格・検定試験の準2級以上の受験者150人、合格率40%</li> </ul>	受験者数171人 合格率については、 27.5%であった。1名の準1級合格者を輩出することが出来た。	英語科 B	準2級の合格率を上げることで、2級以上の受験者、合格率につながるよう引き続き指導していく。
	富士市立高等学校改革実施計画案の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士市立高等学校改革実施計画(2021～2030)案の作成</li> </ul>	個別計画を各分掌で検討、作成 原案を1月職員会議で提出済	指導主事 学校改革・魅力化 IR推進 B	10年目の検証を活かす形で計画案の作成を行った。今後スクールミッションや年間計画との連動が必要。
エ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒75%</li> </ul>	生徒アンケートの結果 H30 77.8% R1 75.7% R2 85.0% R3 78.5%	企画研究 指導主事 学年 A	探究学習において、「論理的な道筋の予測」はディベート、「課題解決のための計画」は市役所プランで主に扱っている。昨年度と比べると低下したが、目標は達成できた。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校行事・部活動に満足している」生徒90%</li> </ul>	アンケート調査結果 「学校行事に満足している」70.8% 「部活動に満足している」76.0%	教頭 生徒 学科 学年 部活動活性化 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で学校行事の内容変更や部活動の大会中止等があった。コロナ対策を講じながらも満足感の得られる行事の企画、運営が必要である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外探究研修の充実(生徒の満足度90%)(注)</li> </ul>	海外探究研修 代替研修 ともに中止	総合探究 ビジネス探究 スポーツ探究	
オ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年学科別懇談会の出席率70%(注)</li> </ul>	コロナ対応のため、実施せず	総務	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「本校が地域に開かれた学校と感じる」保護者85%</li> </ul>	92.3%と目標を上回る結果であった。	教頭 A	コロナ禍で工夫して実施できることを行い、広報活動も積極的に行いたい。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の実績 40回以上 (注)</li> </ul>	<p>「多世代交流サッカー」12回実施、6回実施予定、6回中止。「人工芝で遊ぼう」1回実施、1回中止。「学校遊ぼう、学ぼう」1回実施、3回中止、1回実施予定。</p>	<p>地域交流 B</p>	<p>「多世代交流サッカー」大人205人、子ども187人計392人参加(12月末現在)「人工芝で遊ぼう(10/15)」一般親子45組計100人参加。ひな保育園40人参加。「高校DEサッカー」小学生6名参加。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員90%</li> </ul>	<p>協議会后に委員アンケートを実施した。</p>	<p>副校長 B</p>	<p>そう思う。87.5% どちらかといえばそう思う。12.5%</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校訪問、出前学校説明会の実施</li> <li>・学校見学会、相談会の開催(年14回)(注)</li> </ul>	<p>中学3年生向けの中学校での説明会は8回実施した。学校見学会12回、相談会1回(計13回)実施した。</p>	<p>副校長 教頭 B</p>	<p>コロナ禍で実施できないところもあったが、来年度は、市内のすべての中学に出向き、実施する予定。学校見学会は水曜日10回、土曜日2回実施し、参加者には好評であった。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新(週1回以上)</li> </ul>	<p>概ね更新できている。月平均閲覧者数増加1,200件→5,300件</p>	<p>教頭 指導主事 A</p>	<p>HPのリニューアルにより、記事の投稿数が増え、閲覧者数も大幅に増加している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館・グラウンドの一般開放年間200日以上(注)</li> </ul>	<p>4~12月 体育館開放日数169日 グラウンド開放日数207日</p>	<p>事務 B</p>	<p>コロナ感染防止策として、体育館で76日、グラウンドで63日の一般開放を中止した。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭球場の一般開放年間90日以上(注)</li> </ul>	<p>4~12月 庭球場開放日数 128日</p>	<p>事務 A</p>	<p>コロナ感染防止策として、72日間の一般開放を中止した。利用者の要望に応じて、7月から火・土・日も開放した。</p>
オ	適正な事務の執行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月末現在のスクールバス利用者60人</li> </ul>	<p>大淵・厚原線:22人 富士南・中央線:14人 計36人で達成率60%</p>	<p>事務 C</p>	<p>1年生の利用が17人あったが、2・3年生が少なく目標を大きく下回ってしまった。安定したスクールバス事業の運営には、次年度新1年生の利用者を20人程度確保しなければならない。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂利用者の満足度80%</li> </ul>	<p>味の満足度80.9% 量の満足度83% 価格の満足度85.1%</p>	<p>事務 B</p>	<p>目標は達成しているが、2年度と比較すると「普通」と答える生徒が増えており、満足度は低下している。メニューのマンネリ化やバリエーションの少なさを指摘する声がある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量を前年度比減</li> </ul>	<p>4~12月:479,845kwh 前年度比+1.44%(6,824kwh増加) ※2年度473,021kwh</p>	<p>事務 B</p>	<p>この2年間はコロナ禍により単純な増減だけで評価することは難しい。夏季以外の空調機の稼働が増えている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー機の利用枚数を前年度比減</li> </ul>	<p>A4換算で 4~12月:1,573,625枚 前年度比-102,000枚 ※2年度:1,675,625枚</p>	<p>事務 A</p>	<p>ここ数年、コピー用紙の削減目標は継続して達成できている。</p>

(注) 新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止または延期された場合は適切に対処する。